

道ななつぼしの十四・七
トなど全体で六百五十九
・八ト(五十一・八ト増)
となっている。

二十八年度の自校炊飯
は小学校が約二百九十校
(約十二万五千人)、中
学校が約二十校(約七千
人)、府立支援学校が三
十六校(約一万三千人)、
市立小学校が二校(約一
千四百人)。委託炊飯は
市町村合わせて約七百二
十校(三十三万七千人)。

納入価格^キ 340

370円前後に

仕入価格は非公表で銘
柄によって異なるが、二
十六年産米の^キ二百五十
ト二百七十円前後、二十
七年産米の^キ二百七十ト
三百円前後、二十八年産
米の^キ三百ト三百四十絵
前後から、二十九年産米
は^キ三百四十ト三百七十
円前後になる見通し。ま
た、米粉パンの取扱いは
約五十六万食(約二万食
減)と微減。

納入卸は昨年同様に(株)
大阪第一食糧、幸南食糧
(株)、津田物産(株)、(株)勝山
商店、(株)京山の五社。

「田舎の力が
未来をつくる」

金丸弘美氏著

佐賀県唐津市出身の食
総合プロデューサー、食
環境ジャーナリストの金
丸弘美氏著作「田舎の力
が未来をつくる！」(ト
ヒト・カネ・コトが持続
するローカルからの変革
ト)が十月三十日、合同
出版から発刊された。

書籍は地域の資産を徹
底的に調査、各産地の「文
化」「歴史」「技術」など
の総合力を結集してト
タルで販売していく仕組
みを検証した。

各地で地理的表示、地
域連携のマーケティング、
6次産業化、稲作の
集約と付加価値づくり、
行政・大学・地域連携の
人材育成事業、地方移住
・定住、離島振興など様々
な取組みが展開されてい
るが、具体的な現場から
ノウハウを構築した実例
事例を取り上げている。

販売価格は一千六百元
(A6判並製・二百三十
二ページ、税別)。